

町長	助役	課長	課補長佐	係長	係	合議
						

甲10-2

来庁者打合せ概要

1. 日時 平成14年4月24日 13:00～14:00
2. 来庁者 ■■■議員、■■■、■■■夫妻
3. 対応者 総務課長
4. 概要 (■■■議員)

- ・ 蘭越町湯里木彫品製作直売所組合長の■■■さんより、■■■さんに建物を壊すので出て行くようにとの連絡があり、総務課長に話を聞いていただきたい。

(■■■氏)

- ・ 3年前に札幌からこちらに来ました。以前から来ているペンションのオーナーより、■■■さんがペンションの内装の仕事をしているとき話があり、現在の建物を買わないかと言われ、建物を見たところ良かったので、■■■さんに会い建物を売ってもらう話しをした。いくらで売ってくれるのかと言ったら社長は100万円でよいと言った。

- ・ 住宅としても住みたいので改造が必要であり社長に話したら、500万円でよいとの事だったので、私も建築の仕事をしており、妥当な金額だったので了解した。

- ・ 10月10日にオープンし、3日後に■■■さんからお金を払ってくれと言われ、■■■さんは1,300万円の見積書をもってきた。当初、500万円との約束だったので、■■■さんに話しが違うことを言って、500万円は支払った。そのころからおかしくなってきた。

- ・ 住宅の登記をするため、■■■さんに言うと登記は出来ないと言われた。土地は町から借りており、このまま続けていくために木彫品の組合長になるように言われた。役場との関係もあると考え承諾した。

- ・ ■■■さんは、町長と親戚だから半年位で住めるようにすると言った。私は、■■■さんを信頼していたので、穏便にすむのであれば良

いと思っていたが、その後3年が経過した。

- ・ ■■さんは、一切を任せておけと言っており、私は出ることが出来なかった。
- ・ その後、色々な噂があり、自分たちが悪者にされていることを感じた。
- ・ 去年の暮れに、■■さんから木彫組合は解散した。解散したので現状復帰のうえ町に返さなければならないと言われた。
- ・ この2週間位前に一方的に解体すると言ってきた。
- ・ ■■さんは脅迫めいたことも言っており心配している。
- ・ 以前、湯里に住んでいた■■さんに相談したら、総務課長に会って話を聞いてもらった方が良いと言われたので、■■さんをお願いして来ました。
- ・ ■■さんは、きちっと話しをしていなかったようだ。

(総務課長)

- ・ 500万円を支払ったとのことですが、契約書はあるのですか。

(■■氏)

- ・ 契約書はありません。領収書はあります。
- ・ 私は、話しが下手なので今までの経過について、まとめてあります。(経過の書類を見せる)

(奥さん)

- ・ 札幌の家等全財産売って500万円を払った。私たちは、建物を売っていただいた。

(■■氏)

- ・ 現在は、商売をするにしても噂があり商売にならない。私は■■さんを信頼していた。

(総務課長)

- ・ どうして早くそのことを言わなかったのですか。
(氏)
- ・ さんを信頼していた。町長とも親戚だと言うし、半年で何とかすると言っていたので。

(議員)

- ・ さんが、最初から1,300万円だと言えば北野原さんは買わなかったと思う。

(氏)

- ・ 私は、木彫組合の組合長となったがそれでも良いと思っていたが急に解散すると言ってきて、さらに、さんは興奮していて話にならない。私は、蘭越に住んでいたいし、夢は学校を作りたいと考えている。私は建築、妻が絵をやるので。それで とした。
- ・ 告訴も考えている。

(総務課長)

- ・ この経過を読ませていただいて大変なことだと思います。
- ・ さんには、町との契約がありましたので、建物は誰のものと聞きましたら、自分のものであると言っております。建物がさん以外の人であれば契約違反になります。
- ・ 住まわれてから、町と契約書の目的以外に使用するのであれば土地を貸すことは出来ませんので、さんから誓約書を頂いています。
- ・ 私としては、さんに貸していましたので、これまでもさんに話をしさんから話しを聞いていましたが、今、この経過を読ませていただいて、さんの話しと違うと思いました。
- ・ ただ、さんんも町の土地であることを知っていたのであれば確認などをする必要ではなかったのですか。

(氏)

- ・ 私の落ち度であった。さんを信用していた。

- ・ 今後は、法律で決着を付けなければやらないと思っていますが、別な方法で■■■さんがお金を返すと言ったら話しは別である。
- ・ 私は、3年間我慢してきた。皆に悪者にされてきた。もう我慢の限界である。

(総務課長) ■■■さん、町にわか

- ・ 町は、現状では任意の団体に土地を貸すことは出来ません。

(■■■氏)

- ・ ■■■さんは雑木を持ってきて、家の中に入れて今から議員が見に来るからなどと言う事もあった。

(総務課長) ■■■さん、町にわか

- ・ おかしいと思わなかったのですか。
- ・ 組合員が集まってこの件について話しをすべきではないでしょうか。

(■■■氏)

- ・ おかしいと感じていたが、私たちが悪者になっており話すことが出来なかった。

(■■■議員)

- ・ 組合員は■■■さんが集めた人だから、集まることは■■■さんが納得しないと難しいのではないかと。私も、■■■さんに頼むと言われて

(総務課長)

- ・ 500万円と1,300万円の件についてもどうするのか話しをしなければならぬのではないですか。

(奥さん)

- ・ 3年前、私たちが買わなければ九州の人が買っていた。

(氏)

- ・ さんは、家を壊すと脅してきている。
- ・ 今は、妻が1人なので何かあれば心配です。
- ・ 最終的には詐欺罪で告訴するよう考えているが、私は、町にわかっていただきたいたいの、町の土地をだまって使っているとは思っていないのでわかっていただきたいたいの。

(総務課長)

- ・ 町長と さんは会って話しをしており、その時町長からも頑張っていたきたいと話しをしています。
- ・ ただ、この事実が町ではわかっていけませんので、この書類をいただけるのであれば町長、助役に話しをいたしたいと思います。